



能美DXビジョン2030

能美防災株式会社

2026.8.3

1. DXビジョン策定にあたって
2. DXステートメント・DX戦略テーマ
3. DXビジョン
4. マイルストーン

1. DXビジョン策定にあたって

近年、デジタル技術の急速な進化により、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。防災業界においても、災害対応力やリスク管理の高度化が求められ、デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の推進は不可欠となっています。加えて、建設需要の増加と業界全体の人手不足が進む中、業務の効率化・高度化による生産性向上が急務となっています。当社はこれらの課題に対応するため、デジタル技術を活用し、防災業務をはじめとする事業全体の高度化と、経営ビジョンの実現を目指します。

当社グループでは、2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028 ～期待の先をカタチに～」として策定いたしました。「期待の先」にある安全をお客様とともに「カタチ」にし、あらゆる場所へ届けることで、防災を常にリードする企業を目指します。中長期ビジョン2028 ステージⅢでは、3つの重点施策の1つとして「DX実現に向けた取り組みの加速」を掲げています。

「DX実現に向けた取り組みの加速」のため、当社は新たに「能美DXビジョン2030」を策定いたしました。「私たちは、分散する情報を『価値あるデータ』として集約し、組織の壁を越えた『人』と『情報』の繋がりを創り、防災の新たな価値創出を実現することで、社会に安全・安心を届けます。」という基本理念のもと、全社的なDXを促進していきます。

具体的な取り組みとしては、顧客価値向上とノンコア業務の削減を目的とし、新規事業の創出と既存業務の変革を推進していきます。新規事業の創出としては「サービスのカたち変革」に組み込み、「TASKis」や「N-HOPS」などクラウドサービスの専従体制を構築し、導入・開発を加速します。一方、既存業務の変革として、点検・施工プロセスなどの「お客様対応変革」や、ペーパーレスを起点とした社内デジタル化によるノンコア業務削減を進め、生成AIやRPAなどのデジタル技術の活用を促進します。

将来的には、分散する情報を中央に集約し、全社的なデータ基盤を確立することで、社員がお客様への価値提供に集中できる「全社最適」の運営体制を実現します。そして、AIをはじめとするデジタル技術をコア業務へ積極的に導入し、生産性を最大化し、お客様へ高い価値を提供し続けられる企業体質を実現します。

これらの取り組みに加え、一人ひとりが防災事業のパイオニアとしての使命を自覚し、ステークホルダーの声に真摯に耳を傾けながら、洞察力和探究心をもって行動することで、目標の実現につなげていきます。



代表取締役社長

長谷川 雅弘

— 2. DXステートメント・DX戦略テーマ

DXステートメント

私たちは、分散する情報を「価値あるデータ」として集約し、組織の壁を越えた“人”と“情報”の繋がりを創り、防災の新たな価値創出を実現することで、社会に安全・安心を届けます。

現場業務としてのDX戦略テーマ

- お客様に高品質なサービスを提供し続けるために、デジタル技術を活用して供給力を強化する
- チームノーマー丸となってお客様に最新・最適な防災ソリューションを届けるために、情報や組織の繋がりを強化する

事業基盤としてのDX戦略テーマ

- 現場業務の生産性を最大限に引き出すために、全社最適化の視点で迅速に必要な仕組みやデジタル技術を導入・運用する
- データやデジタル技術の活用による業務改善を促進するため、組織・従業員のDXスキル向上と、積極的に活用する意識を醸成する

3. DXビジョン

組織を超えたつながりで、 防災の未来を拓く。

私たちは、分散する情報を
「価値あるデータ」として集約し、組織の壁を越えた“人”と“情報”の繋がりを創り、
防災の新たな価値創出を実現することで、社会に安全・安心を届けます。

現場業務

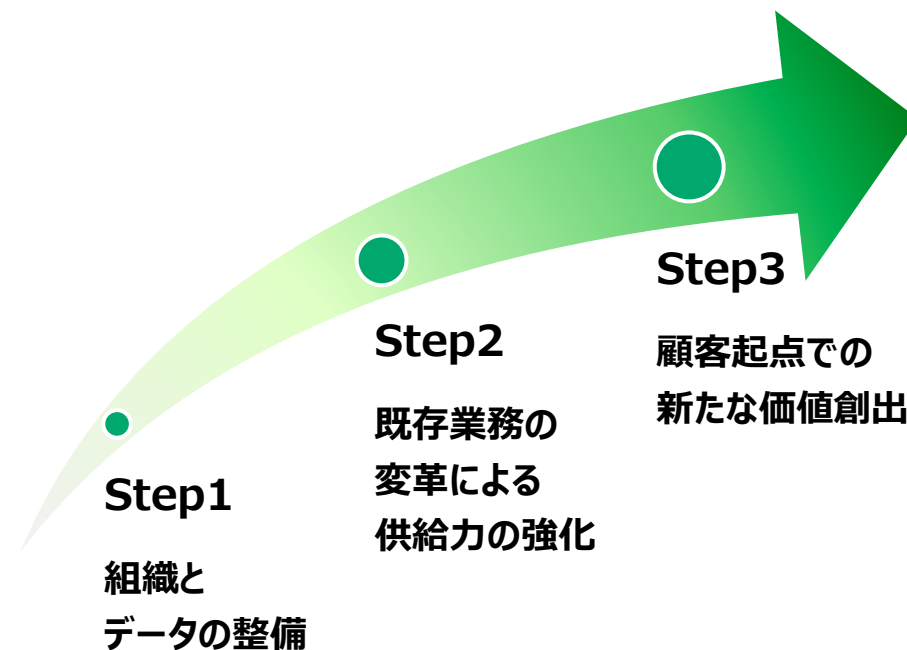
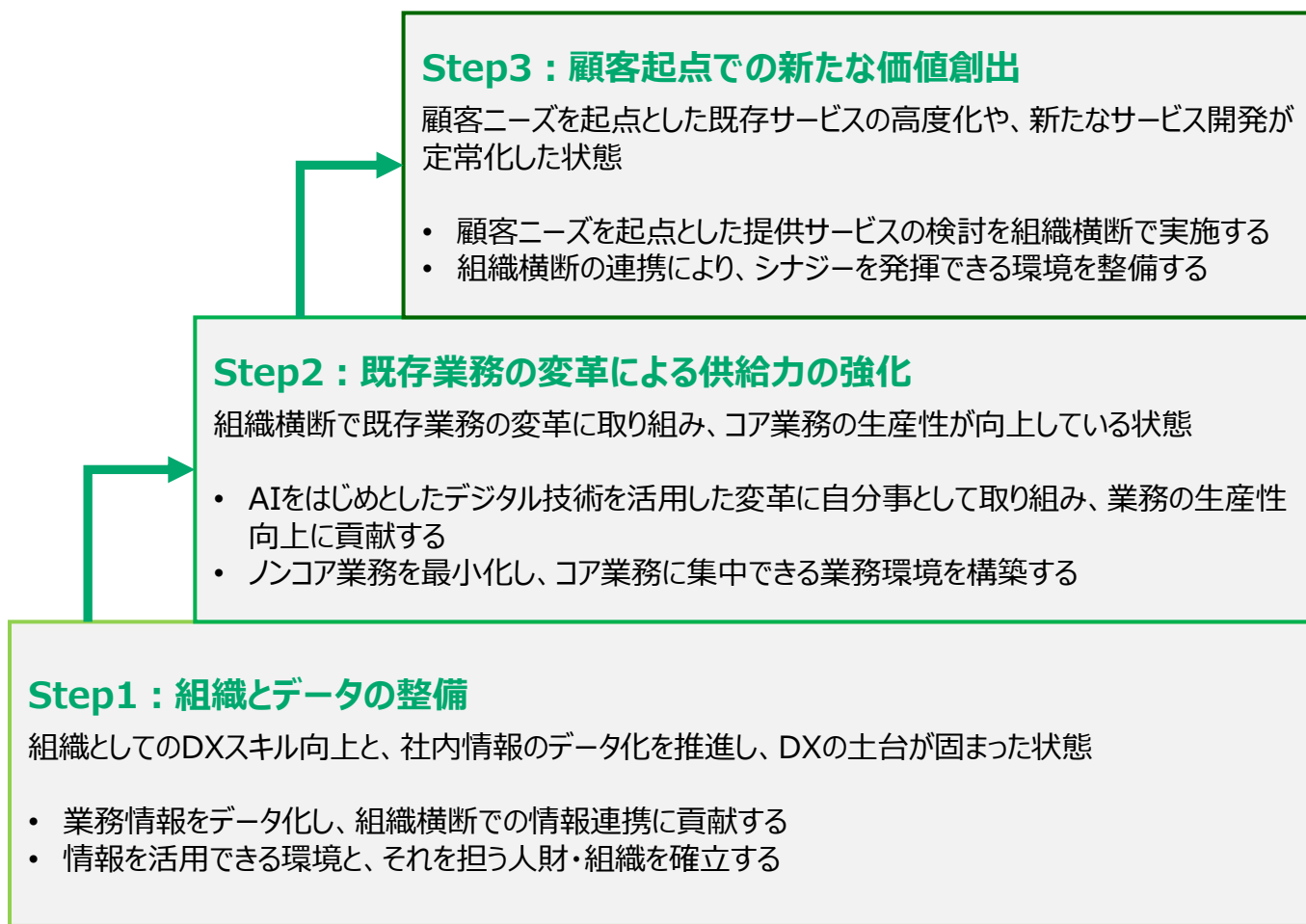
防災ソリューションの提供（設計・施工・保守・点検）を通じて得られる
現場データを活用し、お客様に継続的な安全・安心価値を提供する

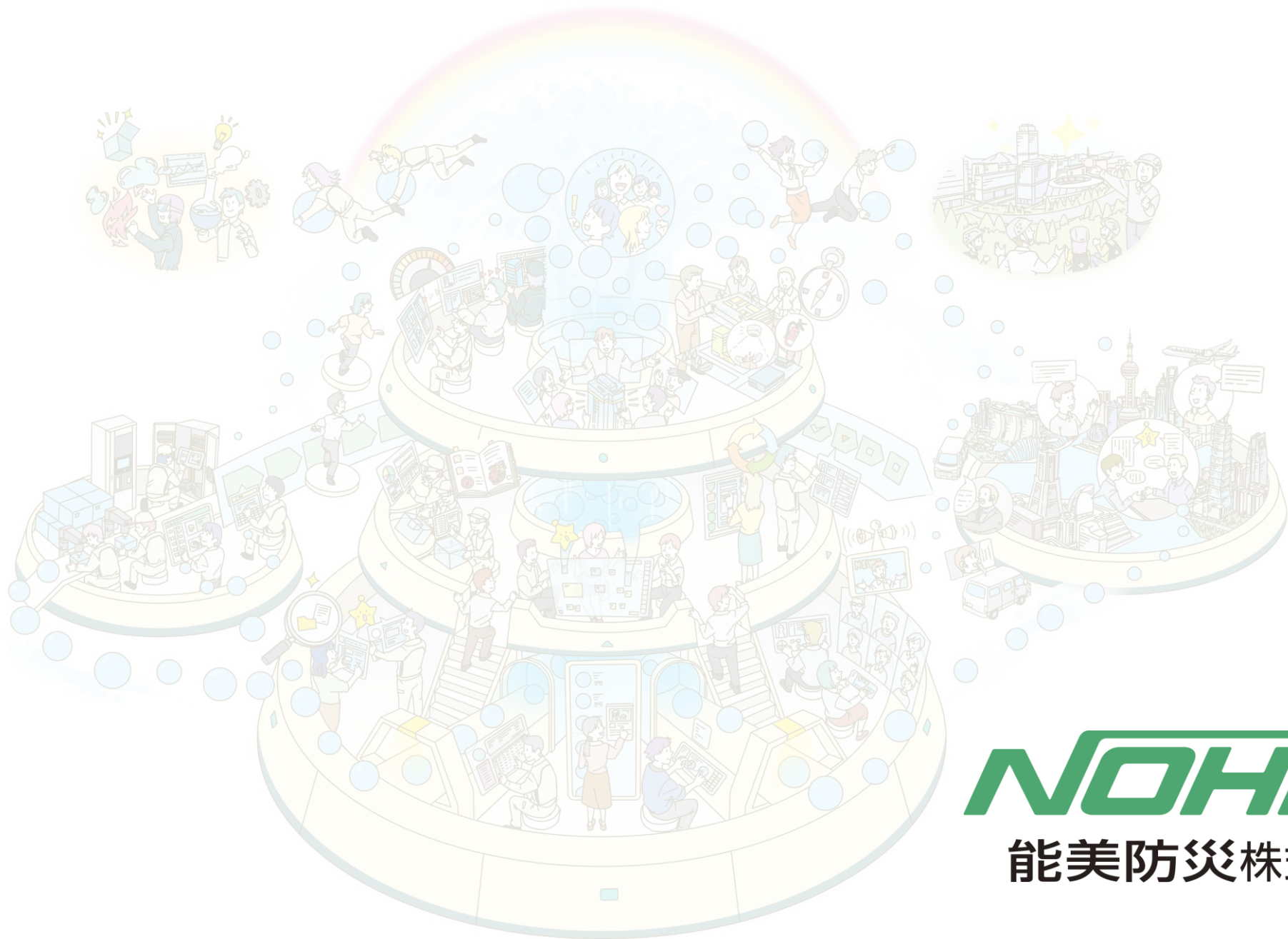
事業基盤

チームノミが保有するデータや知見を連携・活用し、
それぞれの強みを活かしながら新たな価値創出につなげる基盤を構築する



— 4. マイルストーン





NOHMI

能美防災株式会社